

# 【蔵王自然の家】キャンプファイヤーマニュアル/プログラム

## 1. キャンプファイヤーに込められた思い

大自然にかこまれた野外の厳粛な雰囲気の中で蔵王の聖なる火を迎え、力強いかがり火のもと、若い情熱を思いきり発散させ、大いに楽しみ、自分を見つめ、これからの自分は、どう生きていくべきかを深く考えながら、一生忘れ得ない思い出をつくる。

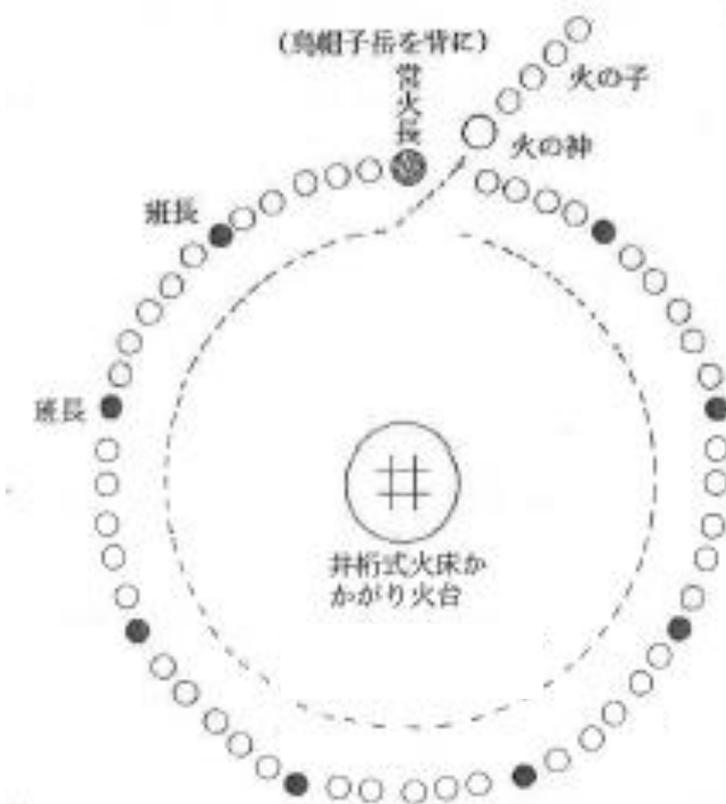
## 2. キャンドルファイヤーに込められた思い

キャンプファイヤーとともに大きな感動を与える火の儀式。ローソクの幻想的な火祭りは生涯の思い出になる。天候に左右されることなく計画できる活動プログラム。

## 3. 5つの係(人数は目安)

係の名前	係の役割	人数	具体的な動き
営火長	営火の責任者	1	営火について全責任をもち、指導者として上席に位置する。
火の司	司会者	1~2	進行を司る。
火の係	火の調節役	4~5	薪の準備、火の調節、後始末
火の神	聖火を運ぶ役	1	聖火を運び、営火長の命に従い点火する。
火の子	聖火を点火する役	4~6	誓いの言葉、献詞、ファイヤーコールなどを演ずる。

## 4. 営火場の配置



## 5. 準備物

- ・トーチ
- ・灯油
- ・音楽
- ・衣装

## 6. スタンプの内容

- ・グループごとにスタンプをする。
- ・3、4分で終わる、長くない内容にする。
- ・上品な内容でみんなが参加できるもの。
- ・ユーモアに富み、若さを発散できるようなもの。

# 【蔵王自然の家】キャンプファイヤーマニュアル/プログラム

## 7. プログラム(参考例)～全体が60～80分で終了するように計画する～

儀式的火	第一部 静かに火を迎える	① 全員が円陣に着席、静かに待つ、その後全員起立する。
		② 営火長の言葉(火の歴史、火のすばらしさなど、その場の子供たちにふさわしく)
		③ 歌「遠き山に日は落ちて」～斉唱→ハミング～、火の神が入場する。
		④ 火の神の聖火を火の子のトーチに分火する。火の子は井桁の周りに立つ。
		⑤ ちかいの言葉(火の子ひとりひとりが別々のちかいの言葉を唱える)
親睦の火	第二部 元気に楽しく火を囲んで	① 火の神の合図で火の神、火の子が一斉に点火する。
		② 歌「もえろよもえろ」を元気に歌う。
		③ スタンツ(歌やゲームなど、だれでも知っているもの、みんなできるもの)
		④ フォークダンス
儀式的火	第三部 静かに火を送る	① 営火長による夜話
		② 黙想(自然や社会、先生方や親などへの感謝を込めて)
		③ 歌「今日の日はさようなら」を静かに歌う。
		④ 閉会宣言後、退場(歌「蛍の光」などを歌いながら静かに退場する。)

## キャンプファイヤー(キャンドルファイヤー)(2)

### 係の具体例

#### 営火長のことば (例)

「赤く染まった太陽が、遠くの蔵王の山並みに沈み、夜のとぼりはおろされました。大自然の中に浸り、友情と団結を深め、力強く生きることを願って、ここに集う皆さんここにともされた火は弱くとも、ひとたび燃えさかれば、すべての醜さを焼き尽くし、世の中を明るく、正しく、力強く生きるための情熱を得る大きな原動力となるものと信じます。

聖なる火の下、今宵、楽しく過ごそうではありませんか。」

#### 営火長の夜話 (例)

「夜もふけ、静寂があたりをおおい始めました。いつの間にか、この楽しかったひとときも、過ぎ去ろうとしています。この火が、やがて皆さんの心に灯され、友情の火として、明るく輝き育てられることを祈ります。

希望に満ちたこれからの人生に、くやしいこと、苦しいこと、悲しいことなどが待ち受けているかもしれません。その時には、この炎、この友を思い浮かべ、友情の火を支えとして、力強く生きぬいて下さい。」



#### 火の子誓いのことば (例1)

1. 私は友情を大切にすることを誓います。
2. 私は誠実な人間になることを誓います。
3. 私は社会につくす人間になることを誓います。
4. 私は自然を愛する人間になることを誓います。



#### 火の子誓いのことば (例2)

- 1つ、私達は もえさかる炎のように、強くたくましい子供になることを誓います。
- 1つ、私達は やきつくす炎のように、悪をはらい、正義の道を進むことを誓います。
- 1つ、私達は くらやみに光を与える炎のように、いつもほがらかで、明るい子供になることを誓います。
- 1つ、私達は 自然を愛し、規律を守り、勉強と運動にはげむ子供になることを誓います。

#### 火の神のことば (例)

この火は、えぼし岳からいただいた聖なる火です。

こんばんのキャンプファイヤーに有効に使ってください。

# 【蔵王自然の家】キャンプファイヤーマニュアル/プログラム

<役割(人数は目安)>

- ・営火長(責任者、1名)・・・
- ・火の司(司会者、1、2名)・・・
- ・火の神(聖火を運ぶ役、1名)・・・
- ・火の子(聖火を点火する役、6名)・・・

儀式の火  静かに火を迎える  第一部 火を迎えるつどい	① 全員が円陣に着席、静かに待つ、その後全員起立する。 <b>【開会】</b> 火の司…これから、第1部「儀式の火～火を迎えるつどい」を始めます。今日のキャンプファイヤーの火の司は _____ です。どうぞよろしくお願いします。
	② 営火長の言葉(マニュアル「係の具体例」を参考に)
	③ 歌「遠き山に日は落ちて」～斉唱→ハミング～、火の神が入場する。 火の司…聖火をお迎えします。『遠き山に日は落ちて』を歌って迎えましょう。 火の神・火の子…(ハミングが始まったあたりで入場を始める。井桁の周りを一周する。) 火の神…(営火長の前で止まる。) <span style="float: right;">Ⓜ</span> 火の子…(火の神と向かい合って並ぶ。) 並び方…○○○○○○
	④ 火の神の言葉 火の神…私は、蔵王の火の神である。ここに集まった諸君に、聖なる火を分けるためにやってきた。
	⑤ 火の神の聖火を火の子のトーチに分火する。火の子は井桁の周りに立つ。 火の神…(次の言葉を言い、分火する。) 火の子…(火を受け取った後、礼をする。) 1 あなたには、友情の火を与えよう。 2 あなたには、勇気の火を与えよう。 3 あなたには、協力の火を与えよう。 4 あなたには、奉仕の火を与えよう。 5 あなたには、努力の火を与えよう。 6 あなたには、規律の火を与えよう。
	⑥ ちかいの言葉 火の子…「ちかいの言葉」(全員で大きな声で声をそろえて) 1 友情の火 私たちは、この炎のように美しい心を持ち、変わらぬ友情を育てていくことを誓います。 2 勇気の火 私たちは、勇気を持って様々なことに挑戦し、自分を高めていくことを誓います。 3 協力の火 友達の良い面を発見し、協力できたことを喜び、人と人との輪を広げることを誓います。 4 奉仕の火 自分のことだけを考えず、みんなのために、考えて行動することを誓います。 5 努力の火 私たちは、自分の夢や目標に向かって、絶えず努力することを誓います。 6 規律の火 私たちは、きまりを守り、自分のことは自分ですることを誓います。

# 【蔵王自然の家】キャンプファイヤーマニュアル/プログラム

親睦の火	若さをさらけ出す 火を囲んで元気に楽しく 第二部 親睦のつどい	⑦ 営火長の合図で火の神、続いて火の子が点火する。 営火長…点火!(最初に火の神が井桁に入れ、続いて火の子が井桁に入れる。)
		⑧ 歌「もえろよもえろ」を元気に歌う。 火の司…みんなで、「もえろよもえろ」を歌いましょう。 火の神・火の子…(みんなが歌っている間に、井桁を一周し、退場する。) 火の司…これで、第1部「火を迎えるつどい」を終わります。
		⑨ 開会 火の司…続いて、第2部「親睦の火～親睦のつどい」を始めます。燃え上がった火を囲んで、楽しく盛り上がっていきましょう!
		⑩ 班の発表 火の司…はじめに、○班の皆さん、お願いします! 【発表が終わったら…】 火の司…○班の皆さんに大きな拍手をお願いします。 次に、●班の皆さん、お願いします! (すべての班が発表する) これで、第2部「親睦のつどい」を終わります。
儀式の火	静かに火を送る 第三部 火を送るつどい	⑪ 開会 火の司…これより、第3部「儀式の火～火を送るつどい」を行います。営火長より、お話をいただきます。
		⑫ 営火長による夜話 火の司…営火長からお話をいただきます。 営火長…(マニュアル「係の具体例」を参考に) 火の司…それではみなさん黙想をします。火を静かに見つめましょう。 自然や仲間、先生方、親などへの感謝を込めましょう。
		⑬ 歌「今日の日はさようなら」を静かに歌う。 火の司…楽しいつどいの間、私たちを見守ってくれた炎も、今は静かに消えようとしています。明日から、また新しい気持ちで、最終日まで頑張りましょう。 最後に「今日の日はさようなら」を歌います。
		⑭ 閉会宣言後、退場(歌「蛍の光」などを歌いながら静かに退場する。) 火の司…これで、キャンプファイヤーを終わります。 (引率者を先頭に落ち着いて自然の家に戻る。)

